

文部科学省 「特色ある大学教育プログラム」 シンポジウム

ケースメソッド授業とケース教材

「ケースメソッド授業」とは、ケース教材を使用し、講義形式ではなく、参加者相互の討議を通して学ぶ授業方法です。わが国では経営教育を中心に活用され、教育成果を上げてきました。

しかし、この授業方法の本質的な効力を考えたとき、その領域は経営教育に限られるべきではありません。ケースメソッド授業は実践を伴う幅広い学問領域においても同様に、活用の可能性があるはずであり、実際、そうした可能性を探求すべく、近年、様々な領域でケースメソッド授業の導入が試みられています。

本シンポジウムでは、参加者の皆様に、ケース教材とディスカッション設問に基づく、「個人予習」「グループ討議」「クラス討議」の一連のプロセスを疑似体験していただく場を用意致します。さらにケース教材の選択方法や流通に関する情報、またケースメソッド授業を活用した各領域における先進教育の取組事例を紹介し、1日のプログラムに凝縮して開催致します。

- 日時：

第1回	2008年3月4日(火) 9:00～17:00
第2回	2008年3月13日(木) 9:00～17:00

(両日とも、交流会が 17:00～18:30 にございます[有料])
- 会場：慶應義塾大学 三田キャンパス
南館（法科大学院）地下4階「ディスタンスラーニング室」
東京都港区三田2丁目15番45号 <http://www.keio.ac.jp/access.html>
- 主催：慶應義塾大学大学院経営管理研究科
日本ケースセンター(財団法人貿易研修センター)

募集概要・プログラムは裏面をご覧ください。



KEIO BUSINESS SCHOOL

慶應義塾大学 大学院経営管理研究科

